

## 平成 26 年度事業概況報告書

平成 26 年 4 月 1 日

平成 27 年 3 月 31 日

平成26年度は国内消費税率の引上げや夏場の天候不順等の影響により消費者需要は若干の鈍化が見られましたが、政府及び日銀による各種金融緩和及び経済政策を背景として、雇用・所得環境は着実に改善されました。平成27年2月の内閣府による景気ウォッチャーでは、日本経済は一部にまだ弱さが残るものの、緩やかな回復基調が続いており賃上げへの期待や燃料価格低下への期待等がみられ、景気動向は回復基調であり景況感は底打ち・好転化してきているとしています。しかし、一部の国に見られる政情不安や米国経済の出口政策の動向などもあり、いまだに足元の消費や設備投資は伸びを欠いており、中小企業などの景況感との乖離もみうけられ、依然不安な要素を抱えています。一方当協会会員の主な事業領域である乳業界におきましては、乳価引上げ、牛乳等の消費の減少、TPP合意の動向などの多くの課題を抱えており、引続き厳しい状況が続いています。

当協会は、厚生労働省及び一般社団法人日本乳業協会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会等との情報交換を積極的に図り、また容器包装及び機器の衛生及び品質の向上に貢献するべく各種の活動に努めました。なかでも今年度の乳機器部会活動において、異物混入に関する取組を行い、その具体的な成果として異物混入防止対策に関する一覧表を作成し、本件に関する来年度以降の活動への足掛かりを築くことができました。また 2 年目を向かえた平成 30 年度ゴールに向けた 2+1 リボルビング方式のロードマップによる進捗管理では、財務体質の強化を目指した各種の取組により、本年度は 7 年度ぶりに単年度収支を黒字とした他の項目についても成果を上げることができました。「自前事務局の実現」などの平成 30 年度のゴールに関する平成 27 年度から 29 年度のロードマップの見直しも具体的に進められました。なお詳細については事業企画小委員会からの本年度答申書をご参照頂きたいと存じます。

本年度の主な活動内容は以下の通りです。

1. 平成 26 年 5 月 21 日に第 3 回社員総会を開催しました。
2. 平成 27 年 10 月 28 日に本年で 5 回目の開催となるオープンセミナーを「食の安全を検討する」をテーマに公益事業として実施し、非協会員を含む約 100 名の参加者がありました。
3. 平成 26 年 11 月 21 日に小人数円卓型の第 5 回乳機器部会懇話会を実施しました。
4. 平成 27 年 2 月 12 日に会員向けの情報提供に特化した会員向けセミナーが内閣府食品安全委員会事務局より講師を迎え実施し、約 50 名の参加者がありました。
5. 協会だよりとホームページの内容の充実に取り組み、協会だよりについて前年度に引き続き外部執筆者の充実を図りました。またホームページもコンテンツの充実を図りました。
6. 事業企画小委員会は平成 30 年度のゴールとそこに至るまでのロードマップ等の項

目について本年度（平成 26 年度）分について進捗管理を行い、また本年度の達成状況の総括をして、更に平成 27 年～29 年度ロードマップを策定しました。併せてこれらにつき理事会への答申書を作成しました。

7. 技術統括委員会は現在厚生労働省を中心に議論を進められている、いわゆる「ポジティブリスト化」に関する情報収集に努めました。また来年度に向け自主貴基準の改定を実施する準備作業として印刷インキ工業会との定期的な打ち合わせ等を実施しました。また、当協会の森田顧問を講師として若手会員向けの勉強会を開催しました。
8. 乳機器部会は乳機器に起因する異物混入対策の一環として、対策に関する一覧表を作成しました。
9. 厚生労働省の関連部署には適確な情報提供を行うとともに当協会に関連する情報収集に努めました。また必要な収集された情報については関連する会員にタイムリーな情報提供を行いました。
10. 当協会に関連する重要な事項について、一般社団法人日本乳業協会、全国飲用乳公正取引協議会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会、公益財団法人日本乳業技術協会、公益社団法人日本食品衛生協会、プラスチック衛生連絡会等と必要な情報の交換を行いました。

このように当協会は厚生労働省をはじめ各方面のご協力と会員各位のご尽力により、本年度もその歩みを進めることができました。今後も国民の健康と食の安全に貢献していく取り組みを主軸に活動を進めて参ります。

以上

## 附属明細書：事業活動の詳細

### 1. 第3回定時社員総会

平成26年5月21日（水）第3回定時総会開催（KKRホテル東京）

正会員39社出席（委任状出席を含む）

- (1) 採択事項：①平成25年度事業概要報告及び決算書の件  
②理事選定の件
- (2) 報告事項：③平成26年度事業計画書及び予算書の件  
④事業企画小委員会答申の件  
⑤乳機器部会安全衛生対策分科会の件

### 2. 主な活動

#### (1) 技術統括委員会

ホームページからの技術的問い合わせ対応、次年度の自主基準の見直しに向け、紙容器WGが中心となって印刷インキ工業連合会と定期的な会合を開催し情報交換を実施した。また、厚生労働省の担当官に対して工場見学会（6月）の実施や森田顧問に講師を委嘱し若手協会会員向けの勉強会（全4回）を開催した。

#### (2) 乳機器部会

厚生労働省の担当官との意見交換会（7月3日）の実施、乳機器懇話会（11月21日）を開催した。また、異物混入対策の一環として対策に資する一覧表を作成した。

#### (3) 事業企画小委員会

当協会の平成30年度までのロードマップの平成26年度の進捗管理を実施した。また、平成30年度ゴール達成に向けた答申を取りまとめ、併せて平成27年～29年のロードマップ案を策定した。

### 3. 官公庁・関係団体などとの取り組み

- (1) 厚生労働省…乳等省令改正関連のフォローアップ、関連情報の提供。
- (2) 関係団体等…日本乳業協会への外部からの質問事項に関する情報提供、全国発酵乳乳酸菌飲料協会、プラスチック衛生連絡会との意見交換。全国飲用牛乳公正取引協議会への協力（専門部会参加、情報交換等）。

### 4. 広報事業の取り組み

会員に対する情報提供と非協会会員を含めた普及啓発事業の実施

#### (1) 第5回オープンセミナーの実施

公益目的事業として第5回オープンセミナー「食の安全を検討する」をテーマに実施した。ホームページ上でも広く案内し、非協会会員を含む100名弱が参加した。

(2) ホームページ

特に不特定多数を意識したコンテンツの充実に努めた。新着情報やお知らせのタイムリーな更新に努めた。

(3) 協会だより

広く外部執筆者に寄稿を求め、その充実に努めると共にホームページとのコラボを継続した。

5. 会員数

|                |        |                  |
|----------------|--------|------------------|
| 平成 27 年 3 月末現在 | 正会員    | 39 社             |
|                | 賛助会員   | 23 社及び 3 団体      |
|                | 個人賛助会員 | 4 名              |
|                | 計      | 62 社 3 団体及び 4 個人 |

6. 会議等の開催状況

|                       |                   |      |
|-----------------------|-------------------|------|
| (1) 通常総会              | 平成 26 年 5 月 21 日  | 1 回  |
| (2) 理事会               |                   | 3 回  |
| (3) 事業企画小委員会          |                   | 12 回 |
| (4) 技術統括委員会           |                   | 8 回  |
| 内、2 回は紙容器WG と合同       |                   |      |
| (5) 紙容器WG             |                   | 8 回  |
| 内、印刷インキ工業会との会合 7 回も含む |                   |      |
| (6) 森田顧問勉強会           |                   | 4 回  |
| (7) 乳容器部会             |                   | 8 回  |
| (8) 乳機器部会懇話会          | 平成 26 年 11 月 21 日 | 1 回  |
| (9) オープンセミナー          | 平成 26 年 10 月 28 日 | 1 回  |
| (10) 関西ブロック会議         | 平成 27 年 2 月 19 日  | 1 回  |
| (11) 会員向けセミナー         | 平成 27 年 2 月 12 日  | 1 回  |

以上